

小水力発電による市民共同発電実現可能性調査

(1) 事業の概要

小水力発電は、最もライフサイクル CO2 排出量の少ない発電設備であるが、イニシャルコストが高いなどの課題がある。このため、河川等における設置可能性調査や、市民出資による設置可能性の発掘を、地方公共団体に委託して実施することにより、普及を促し、低炭素社会の構築を図る。

(2) 事業計画

小水力発電は設置までに流量調査や法的手続きなどに期間が必要であり、また、市民出資には自治体の直接的又は間接的な支援が必要であることから、地方公共団体が主体的に、候補地や設置運営主体、資金調達方法（市民ファンド）の可能性、法制度、最も有効な小水力発電の形式などの調査を行うことにより、市民共同発電の実現可能性を検討する。

(3) 事業実施主体 環境省（地方公共団体に委託予定）

(4) 予算額 1 0 3 百万円

小水力発電による市民共同発電実現可能性調査

小水力発電は最もクリーンな発電であるものの、設置までには流量調査や法的手続きなどに期間が必要であり、また、市民出資には地方公共団体の直接的又は間接的な支援が必要である。このため、地方公共団体に委託し、候補地や設置運営主体、資金調達方法(市民ファンド)の可能性、最も有効な小水力発電の形式などの調査を行うことにより、市民共同発電の下地作りを行う。

市民共同発電の
設置可能地を
調査・発掘



管路



用水路



市民共同出資
による小水力
発電の設置